

な～に谷っ戸ん田 2回目 種まき/タケノコ掘り(竹林整備)

とき：平成20年4月19日(土) 9:30から18:00ごろ

ところ：恩田の谷戸田 作業倉庫、道路向かいの竹林

天候：晴れときどき曇り 19 風強し

参加者：霧生、池田、久保、高見、佐々木夫、高橋、田中、松本夫妻、百崎夫妻+まるちゃん、吉田石田(事務局)、高田妻(事務局)、鈴木(園主)
参加者人数 14名+子供1名、園主 計16名

本日の作業：コシヒカリ・赤米の種まき、タケノコ掘り・竹の伐採

使用した器具等：オート播種機、育苗トレイ、クボタ春風床土、種籾(コシヒカリ、赤米、ベニロマン) タケノコ専用鍬、収穫袋、ノコギリ、鉋、(竹専用のものを北部農政から借りた)

*種籾は1週間程度水につけ、前日水切りをして発芽させてある

午前・倉庫前の掃除。ハウスの雑草取り。種籾をゴザの上で乾燥させる。

- ・オート播種機の組み立て、床土を下の倉庫から運ぶ
- ・機械に床土・種籾をそれぞれ投入する トレイをセット 床土 注水 播種 覆土(全てオート)
- ・赤米とベニロマンは播種・覆土部分を手蒔きで対応
- ・出来上がったトレイをハウスに移動 台の上にトレイをのせ(8枚)一段づつ黒マルチで覆い10段重ねる 一番上に土だけが入ったトレイを重しとしてのせる 全トレイの周りをさらに透明ビニールで覆い、ひもで縛る。
- ・コシヒカリ 58枚、赤米 10枚、ベニロマン 12枚(1枚につき種籾一合八尺使用)
- ・床土は15袋使用(20kg/袋)
- ・種籾(コシヒカリ)のノゲ(芒/野毛)を専用機械(クボタ脱芒機)で切る

昼 森さんが後任の方を連れて挨拶にみえた。後任の方は赤井さん、本庁の担当者は大久保さん。

赤井さんは入所2年目28歳、畜産が専門のフレッシュな男性です。

午後・竹林でのタケノコ掘り、ちょっと頭が出ているのや、もう少しで顔を出しそうなものを見つけては鍬をふりおろす。まだ地上に出ていないのを見つけるのはかなりの快感!

超ビッグサイズから料亭向きの小ぶりなものまで合計90本近くを収穫。

その後女性陣は倉庫に戻り、試食用にタケノコを茹でたり、石焼にする。(鍋、ドラムカン窯、薪等はてつさんから借りる)

男性陣は竹の伐採作業。2時間ほどで30本近い竹を切り、枝を落とした。だが、竹はまだまだ繁茂し雑木林を侵食している。竹を切るいい時季は本来は秋から冬。竹林も傘をさして歩けるくらいが理想。伐採した軽トラック一杯分はグリーン畑へ(暗渠用)、恩田の谷戸ファンクラブで炭焼きに使うものも確保。

作業終了後、タケノコの味見。味噌や醤油をつけて食す。これぞ贅沢の極み!もちろん美味でした。

* てつさんのお家ではタケノコをゆでる場合ぬかやタカノツメは使わないそうです。皮をむいてそのまま鍋に入れるだけとのこと。掘りたてだからできるのです。

* 高見さんから北海道のお土産(ジャガイモクッキー)、石田さんから味噌、てつさんからお茶等の差し入れがありました。

* お土産にタケノコを一人5本程度いただきました。

お知らせ

・次回は4月29日(火祝)9時30分～ たんぼ集合(荒代かき作業)昼食、飲み物、長靴等持参

・4月27日(日)に園主鈴木さんが種まきをするので、手伝える方は参加ください。

当日は今日播種したトレイを出す作業もあります